

大阪歴史博物館 X R 難波宮 公募型企画提案プロポーザル 質問に対する回答

番号	要項・仕様書 頁数	該当項目番号	質問内容	回答
1	実施要項 4頁	13.プレゼンテーション 審査	8月10日予定のプレゼンテーション審査は、オンラインでのプレゼンが可能ですでしょうか	可能です。オンラインで参加される方には別途使用アプリとアドレスをお知らせします。参加申請書類提出までに、質問と同じアドレスに以下のことをお伝えください。 ①企業名とプレゼンターの名前 ②アドレスの送付先 以上です。
2	仕様書 1頁	4.業務の内容	業務範囲につきまして、下記①～④のうちどの認識が合っておりますでしょうか。 ①既存のARアプリがございますが、その既存アプリを改修する ②アプリは既存のままAR起動後のデータの差し替える ③アプリ自体を作り直す ④ARモデルの制作をしQRコードの生成のみ	今回はアプリの作成は行いません。仕様書「4業務の内容(5)」にあるように、作成いただいたBIMデータを、既存のクラウドサービスやインターネット上のプラットフォームを用いてARとして使える仕組みを作成してください。
3	仕様書 1頁	4.業務の内容	上記①の既存アプリを改修する必要がある場合、既存システム内に弊社が入り込める仕組みがあるのでしょうか。 または、アプリ開発された既存の業者の方にて、弊社で制作したデータの埋め込み等ご対応いただけるのでしょうか。	上記2番の回答と同じとなります。
4	仕様書 1頁	4.業務の内容 (1)	BIMを用いた古代建物の復元3Dモデルの作成について、復元する建物の詳細度レベルはLOD200程度とするとありますが、LOD200は構造形式が確認できる程度のモデルであり、細部構造や外形形状を省略したモデルになりますが、よろしいのでしょうか。「AR難波宮」での3Dモデルはそれ以上のもののように見えます。	修正いたします。モデルは現行の「AR難波宮」と同程度以上とします。AR難波宮については、以下をご覧ください。 https://www.osakamushis.jp/news/zyousetu/arnaniwanomiya.html また、属性情報は必ず入力してください。
5	仕様書 1頁	4.業務の内容 (2)	前期、後期難波宮を今回ARコンテンツに組み込む必要はあるか	仕様書「4業務内容(2)」にあるように、10階からの眺望の中に前期、後期難波宮を組み込んでいただく必要があります。
6	仕様書 1頁	4.業務の内容 (2)	前述の必要がある場合、モデル貸与はあり得るか(BIM製作物一覧に無いため)	こちらは当館の模型、復原図などを用いて作成いただくことになります。
7	仕様書 1頁	4.業務の内容 (5)	「ARについては資源としてクラウドサービスやインターネット上のプラットフォームを用いて編集可能であること」とありますが、ARについては既存のサービスを利用する必要がありますか？	今回はアプリ作成を考えておりませんので、既存サービスをお使いください。
8	仕様書 1頁	4.業務の内容 (5)	前述の場合は、1年目の費用は契約上限金額に含まれますか？また2年目以降は別予算とすればよいのでしょうか？	今回は作成までの費用です。ランニングコストのかからないサービスの使用をお考えください。
9	仕様書 2頁	8.成果品	BIMモデルの成果物納品時ファイル形式について、revit、archicad等ご指定ございますでしょうか。	IFC2x3でお願いします。
10	仕様書 2頁	8.成果品 (1)	納品物一覧が3Dモデル、マニュアルとあるがARコンテンツについてはどのような扱いか	ARについては既存のサービスを使いますので、作成いただいた3Dモデルが搭載された状況をつくってください。